

心も酔わす佐渡の魅力

蔵元、エッセイストら

東京で食や絶景PR



地元酒蔵の蔵元やエッセイストらが佐渡の魅力を語り合ったトークイベント＝27日、東京都世田谷区

地元酒蔵の蔵元やエッセイストらが佐渡の魅力について語り合うトークイベントが27日、東京都世田谷区の書店で開かれた。尾畑酒造(佐渡市)蔵元の尾畑留美子さんから3人が佐渡に寄せる熱い思いを披露し、自然や食、伝統芸能などをPRした。

尾畑さんのほか、日本海側地域の魅力を発信しているエッセイスト酒井順子さん、佐渡市広報戦略官の田中雅子さんが出演。訪れた約50人は尾畑酒造の地酒

「真野鶴」をたしなみながら3人の談義に耳を傾けた。

尾畑さんは、廃校を活用した日本酒の仕込みを通じて都市住民らとの交流などを図る「学校蔵プロジェクト」を紹介した。6月には講師を招いて地方での起業をテーマに特別授業を開く予定で「佐渡で起業する若者が出てくるような方向に持っていきたい」と地域活性化への夢を打ち明けた。

これまで5回ほど佐渡を訪れたという酒井さんは「カンゾウが一面咲き乱れる大野亀が一番印象に残っている。あの景色は他にはない」と自然の魅力を語った。

尾畑留美子さんは「佐渡の自然や食、伝統芸能などをPRした。約50人は尾畑酒造の地酒を飲んだ。尾畑酒造の蔵元やエッセイストらが佐渡の魅力を語り合ったトークイベント＝27日、東京都世田谷区」